



ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー: 変化をもたらす

2017-2018年度 国際ロータリーのテーマ

会長 高橋利光
幹事 山田正
会報 鈴木彦太 及川勝永
後藤益美 森田峯男

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2618回例会 2017. 10. 19 No.16

本日の出席率

・本日の出席率 74.4%

ニコニコボックス

- ・高橋利光会長 菅原文之会員のスピーチに期待して。
- ・菅原文之会員 本日は私のスピーチです。最悪のスピーチになりそうです。会場監督は誰でしょうか。宜しくお願いします。
- ・鈴木彦太会員 菅原文之会員のスピーチにご期待を申し上げます。楽しいお話を参考にしたいと思います。宜しくの程。
- ・布施孝之会員 菅原文之会員のスピーチ楽しみに。楽天イーグルス頑張れ!!
- ・村上武彦会員 本日のスピーチに期待して。
- ・飯塚仁哉会員 菅原文之会員のスピーチ楽しみに。メタボは間食のしすぎですよ。お互い気をつけましょうよ。
- ・佐藤幸一会員 菅原文之会員のスピーチに、大いに期待いたします。
- ・八谷郁夫会員 菅原文之会員のスピーチに期待して。
- ・江川元徳会員 秋! 健康第一!
- ・佐藤敬喜会員 ロータリー財団、米山記念奨学会へのご支援をお願いします。
- ・高田次雄会員 今日は寒いですね。冷たい日ですね。20日の土用前のこの寒さ、体調不良など起こり易くなりますのでご自愛下さい。菅原文之会員のスピーチ楽しみにしております。
- ・菅野幸一郎会員 菅原文之会員の含蓄のあるお話を楽しみにしております。
- ・佐藤静市会員 歓迎! 菅原文之会員スピーチ。同期入会でRCの先輩格、物事に臆せず真摯に取り組む姿に敬服です。本日の卓話は、菅原家のルーツか郷土史か楽しみに聞かせていただきます。

- ・猪股育夫会員 菅原文之会員の格調高いスピーチにご期待申し上げます。
- ・菅原慶一会員 菅原文之会員のスピーチに期待して。
- ・及川昭宏会員 菅原文之会員のスピーチ、楽しみにしています。
- ・伊藤幸子会員 先週の津島神社の宮司様のお話、とても良かったです。寒くなりました、体に気をつけましょう。
- ・二階堂恭子会員 お話を聞くのが楽しみです。委員会に出席できずすみません。
- ・山田正幹事以下 菅原文之会員のスピーチに期待。
千葉吉男会員 山田直志会員 佐竹孝行会員
遠藤光則会員 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員
布施孝尚会員 富士原裕子会員 武川毅会員
岩淵栄市会員 杉田広仁会員 及川富男会員
大畑好司会員 千葉正宏会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 高橋利光会長

先週の職場訪問例会では、多くの皆様にご出席いただきまして、ありがとうございました。担当の武川職業奉仕委員長には改めて御礼申し上げます。

又、10月7日(土)に行われました、第35回登米市青少年剣道大会にも、たくさんのロータリアンの方々にご参加いただきましたこと、誠にありがとうございました。当日の参加人数は、小学生70名、中学生23名、高校生7名、ロータリアン20名、父兄約50名、合計170名でした。そして、試合に出場した選手は、団体戦45名、個人戦42名との報告を受けております。

大会試合前に行われた、警視庁剣道室主席主範の佐藤勝信先生による稽古会では、子供たちも一段と引き締り、気合が入った掛け声が響き渡りました。

お陰様で第35回の記念大会にふさわしい、大変充実

した剣道大会になりました。千葉正宏青少年奉仕委員長を始め、大会成功にご尽力された方々に御礼を申し上げます。

先日「佐沼ロータリークラブ新定款(案)」を郵送させていただきました。同封の案内文にもありますように、来週10月26日(木)を総会に準じた例会とさせていただきますので、来週は是非ご出席下さいませようお願い申し上げます。やむを得ず出席できない場合は、お手数でも同封の委任状を提出して下さいませよう、お願い申し上げます。また、お配りした「新定款(案)」は必ず持参ください。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 山田正幹事

- ・ガバナー事務所より
ロータリー・リーダーシップ研修会の案内が届く
パートII
日時 11月12日(日) 9:00~16:40
会場 斎苑(仙台市青葉区)
参加費 2,500円
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く

各委員会報告

- ・国際奉仕委員会(及川昭宏委員長)
1. 青少年交換長期留学生にエントリーしております。佐沼高校1年生鎌田暖さんが無事合格致しました。11月5日常盤学園にてガイダンスを実施
- 2. FAXにて世界大会(カナダ)参加意向の調査をしております。参加予定の方は10月20日までにFAXでご返送下さい。
- ・米山記念奨学会委員会(佐々木源悦委員長)
寄付をお願いしてございましたところ、早速ご協力いただき、ありがとうございました。
- ・ロータリー財団委員会(佐藤敬喜委員長)
財団への寄付ありがとうございます。1年を通して行いますのでよろしくお願い致します。
又、2018-2019年度地区補助金の申請が始まっております。懸案がありましたらご連絡下さい。
- ◎PHFバッチ授与(PHF+1……2回目)
江川貞恵さん(江川元徳会員娘)



ポール・ハリスフェローバッチ授与

今週のスピーチ

菅原文之会員

私には、人に自慢出来ること、生きた証と言うものがないんですね。俄づくりの人生ではありますが、そんな人生の中であって、佐沼ロータリークラブの仲間、私にとっては非常に掛け替えのない人たちでございます。10月2日に70歳の誕生日を迎え、古稀になりました私は、これからもう勉強をする必要もありません。やる気もありません。今更自分を磨いたところで「金」にはなりませんので諦めております。

私の今の人格、品格の80%は佐沼ロータリークラブの先輩、同輩に接することで出来ているということ、私としては満足しております。あと残りどれだけ生きられるか分かりませんが、この中で得た感動を源泉として人生の設計図としたいと思っている次第です。

「人は死んで名を残し、虎は死んで皮を残す」という言葉のように、人は死んでから何か残さなければいけない訳ですけども、女房は金だけ残せば良いと言っておりますので、私は陰で「猫に小判」と悪口を言っております。

私たち人間には「天の時」という言葉があります。そして、物には「潮時」というものもあります。桜には「咲き時」「散り時」があります。私たち人生には幕を引く時が必ずあります。やってきます。その時までに私たちはどの様な覚悟でその時を迎えたらよいかということを考える必要があると思います。

私の家には昔から「暇乞い」という慣わしがございます。女が60歳を過ぎたら死ぬための準備にとりかかるといふ風習です。死ぬということではないのですが、何時そんいう時があってもよいような心構、お別れといったことをしなければなりません。

昔は60歳でしたが、今では70歳、80歳になってきております。私の姉も、11月11日~13日に暇乞いにやってきました。私は、横浜まで迎えに行かなければなりません。親戚を全部廻ってひとまず今生の別れをするということになります。

危篤で訳のわからないことになった時には、私は行きません。意識のはっきりしている時にしか迎えに行きません。ちょっと冷たいような感じがしますが…。

男には「暇乞い」はありません。男は家から出たら死んだと思えと言われてきました。男は内での責任より外での責任の方が重いと、小さい頃から言われてきました。

私のロータリー感を話したいと思います。私なりの考えですのでお許しをいただきたいと思います。

ロータリーは外国的な慈善団体ですよ。日本には慈善団体というのはありません。どうしてかと言いますと、心の問題です。人に対する施しであるので、日本ではそういった人を篤志家と言います。個人がするのは寄付と言います。自己犠牲が伴ってはじめて他人に対する奉仕だと言う考えですので、痛くもかゆくもないのは奉仕ではない、色々異論もあると思いますが、これは、私なりの感じ方です。

アメリカ式の形態でやると、日本的な考えの人は我々を金持ち団体、名誉のある人達の集まりだという目で見られないとも限りません。だから活動も含めて寄付だけでなくPRをしなければ誤解をされるかも知れません。地域に根差した団体であるよう努力しなければならぬと思います。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。